

成田市長 小泉 一成様 祝辞

ただいま、ご紹介をいただきました成田市長の小泉一成でございます。

本日は、国際医療福祉大学 医学部の開学、誠におめでとうございます。医学部としては38年ぶり、首都圏では43年ぶりの医学部開学という歴史的な出来事がここ成田市で実現し、その市長としてこの場に立たせていただいておりますこと、大変感激をしております。高木理事長をはじめ、関係者の皆様の多大なる御尽力に、心から敬意を表するとともに、厚く御礼を申し上げます。

また、このたびの医学部新設は、国家戦略特区制度の活用なくしては為し得なかったものでございます。本日、ご列席の内閣府特命担当大臣 山本幸三様をはじめ、千葉県知事 森田健作様、そして関係者の皆様に、並々ならぬご協力を賜りましたこと、合わせて感謝申し上げます。

さて、本日晴れて国際医療福祉大学医学部の第1期生となられた皆様、並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。たいへん厳しい入学試験を乗り越え、こうして新入生としてこの場に臨まれ、今までの努力が報われたと大変感慨深いこととと思います。新設の医学部でありながらも高い受験倍率となりましたことは、本学が魅力のある医学部であったことの表れだと思います。

新たなキャンパスは高い総合診療能力を身につけるための設計が随所に施され、ここで学ぶ6年間は、皆様の人生にとってかけがえのない時間となることは言うまでもありません。皆様が思い描く夢の実現に向け、ここ成田市で充実した学生生活を過ごしていただけるよう、市としましても可能な限りのバックアップをしていきたいと考えております。

昨年4月の国際医療福祉大学 成田看護学部・成田保健医療学部に続き、本日、医学部も開学を迎えられ、5年後には2千人を超える大学生や教職員の皆様がここ成田市に集うことは、当市のまちづくりのうえでも大変意義深いものがございます。

平成32年中には市内に医学部の附属病院も開設されること伺っており、地域医療体制の充実に寄与していただくことはもとより、世界に誇れる国際的な医療拠点として大きく発展されることを期待しているところでございます。

結びに、国際医療福祉大学に医学部が加わり、真に医療・福祉の総合大学として、さらなる発展を遂げられることを、心からご期待申し上げますとともに、新入生の皆様が国際医療福祉大学の新たな歴史を築き、将来の我が国の医療、さらには全世界の医療の発展に寄与されることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成29年4月2日
成田市長 小泉 一成